

令和 3 年度 麻生区市民提案型協働事業結果報告書

○ふらっとリビング ～多世代交流型居場所作り～ 事業 （ふらっと新百合ヶ丘）	・・・ P 1
○おか庭クラブ（おか庭クラブ）	・・・ P 2 0
○麻団 KIZUNA ネットワーク（麻団 KIZUNA ネットワーク）	・・・ P 2 6
○麻生区 SDGs 推進隊（あさおの SDG s）	・・・ P 3 1
○麻生区の新たな魅力と岡上グリーンツーリズム体験！！ （岡上アグリ・リゾート）	・・・ P 3 6

令和4年 2月 25日

事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	ふらっと新百合ヶ丘
-----	-----------

1 事業結果

事業名	ふらっとリビング ～多世代交流型居場所作り～	
実施時期	令和 3年 5月 7日 ～ 令和 4年 3月 7日	
事業費	予算額	458,730 円
	決算額	433,474 円
実施結果	（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など） 【ふらっとリビング】 2021年5月12日（水）大人5、子ども9（新規シニア1名） 2021年6月9日（水）大人5、子ども7（新規1家族）シニアサポート2 2021年7月14日（水）大人3、子ども7（新規1家族）シニアサポート2 2021年10月13日（水）大人7、子ども10（新規4家族） 2021年11月10日（水）大人2、子ども7 2021年12月8日（水）大人6、子ども16（新規2家族）シニアサポート2 2022年1月12日（水）大人4、子ども13（新規1家族） 2022年2月9日（水）大人1、子ども10 【アウトリーチ企画・農園体験】 2021年10月3日（日）お米のお仕事体験 大人12、子ども11 2021年10月24日（日）サツマイモ収穫体験 大人9、子ども10 【オンライン食育お料理教室】 2021年8月1日（日）夏野菜を使った食育おいなり作り 4家族参加 2021年9月23日（木・祝）食育防災お料理教室 7家族参加 【広報イベント】 2021年11月27日（土）小田急のくらしマーケットにて体験ブース ・登録シートの更新／・ホームページ随時更新／・LINE@配信 ・ふらっとリビング案内チラシ作成／・ふらっとリビング第二弾案内 ・衛生チェックリスト更新	

事業総括 (自己評価)	(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など) ・アンケート (別紙) 踏まえて、多世代交流の居場所として少しずつ認識してくださり、地域交流の場となってきました。とくに子どもたちの特別な居場所になってきている。アンケートでもらったリクエスト遊びも2回開催することができました。 ・当初の年間スケジュール通りには行かず、農家さんが忙しくて来れず、緊急事態措置期間により開催中止も2回あったため、内容を変更して、農園へ出て収穫体験や農体験の機会を作りました。 ・親子の時間を作るきっかけになり、初めて同士でも月1開催することで顔見知りになり、楽しめる機会になっています。 ・蔓延防止期間以外は毎月1.2家族が登録してくださり、少しずつ新規の方が増え、リピートされる方と良いバランスで参加していました。 ・新たな参加を増やすため、初めて地域のイベントに出て、チラシの配布や広報をしました。 ・町会、自治会、農家、包括支援センター、地元企業、とくに今年は地域団体などと連携することができました。
----------------	--

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
川崎市負担金	413,730	
企業協賛	30,000	小田急不動産
参加費	15,400	
合 計	459,130	

(2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金等	250,000	別途資料
旅費・交通費	3,000	
消耗品費	43,029	・ワークショップ材料費等 34,774 ・インク 580、580 A4 紙 1,980 ・衛生品 5,115
印刷製本費	35,620	・18,310 チラシ①印刷代 ・2310 チラシ②印刷代 ・制作費 5,000×3
通信運搬費	27,425	5月 2,511 6月 2,628 7月 2,489 8月 2,270 9月 2,302 10月 2,270 11月 2,270 12月 2,402 1月 2,270 2月 2,313 レターパック 370×10

使用料・賃借料	66,000	(1,500 円×2 部屋×2.5 時間) ×8 回×1.1=66,000
保険料	8,400	2,520(5.6.7 月)+2,520(10 月×3) +2,520 (11.12.1 月) +840 (2 月)
合 計	433,474	

※収支差額 25, 656 円は、返還を求めない団体剰余金。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(ふらっと新百合ヶ丘)
事業名	(ふらっとリビング ～多世代交流型居場所作り～)

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	1. 十分達成できた <u>2. ほぼ達成できた</u> 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	継続して開催することで、子どもたちの居場所ができた。新型コロナウイルスにより、シニアサポーターの参加が少なくなり、今後の改善も必要。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	1. 十分満足していた <u>2. ほぼ満足していた</u> 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	アンケートでは満足な結果が得られたが、食育による交流や、一部の家族のリピーターに偏りつつあり、情報が伝わり切れていない。※別紙にてアンケート結果。
	事業の経費は適正でしたか	<u>1. 大きな過不足なく適正に執行された</u> 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	協力団体への謝礼に関して、区のサポートがあることで、今年も多くの協力を得ることができた。当初の計画上の事業見積に対して、謝礼金は予算経費を上回ったが、参加費をいただくことで補填できた。
	実施過程で問題は発生しましたか	1. 問題は発生しなかった <u>2. 問題が発生したが適切に解決できた</u> 3. 問題が発生し、解決できなかった	新型コロナ感染拡大などを受け、中止やオンライン開催、農園体験などの手法の見直し等を重ね、無事故でトラブルも無く継続できた。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	<u>1. 十分効果があった</u> 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	区役所の協働事業ということで、初めての方への安心感があった。小学校へのアプローチももっと続けたい。コロナ対策の共有や、様々な施設・機関から協力を得やすかったこと。また、参加者の安心感から効果は十分であった。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	<u>1. 十分に行った</u> 2. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	コロナ禍における開催方法や対策など運営団体の意見や方向性を常に聞いてくださり、開催のたびに一緒に振り返りができた。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	<u>1. 対等な関係になっていた</u> 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	常に情報交換できる存在であり、運営団体としても安心であった。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	<u>1. 明確かつ適切に設定できた</u> 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	運営団体の意見や方向性を常に聞いてくださり、開催のたびに一緒に振り返りができた。 広報や関係機関への協力依頼は行政が行うなど、当初想定した範囲において適切であった。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	1. 十分確保できた <u>2. まあまあ確保できた</u> 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	チラシやHP、SNS等を駆使して開催情報を発信しました。水曜の午後だと参加できない方のために、土日に農園体験を開催。新型コロナ感染のリスクを感じる方のためにオンライン開催。 新型コロナ感染対策のため、2回の開催が中止となりつつも、新しい方のご参加も増えている。
今後の課題	・家族単位での席の確保をしていたため、参加者同士の交流が難しい状況ではあった。オンラインでの食育や多世代交流を模索しつつ、シニアサポーターとも交流していきたい。 ・【自立できるための収入や協力の仕組み構築】は今後の課題。 収入については①農園体験の有料化、②協力団体による交流会の実施による、売上の一部をふらっとリビングの協賛費用の確保」をしていきたい。 協力スタッフについては、交流会の実施により地域の人と繋がり、地域人材の発掘と活用が必要。」 ・ボランティアのライフステージや関われる範囲にも対応できるような体制構築(開催方法の改善や他団体連携等)による、持続可能性の模索も必要になってくる。 ・【地域資源・人材の発掘・活用】として、地元野菜を使った食事や食育、地域人材の発掘・活躍機会創出・協力団体との連携による活動の認知・拡がり創出もしていく。		

ふらっと新百合ヶ丘 活動報告



2021（令和3年）年度

2021年5月12日ふらっとリビング

自分の理想のお弁当を考えることで、食について考える

お弁当を考えよう



集合写真



2021年6月9日ふらっとリビング

地元野菜に親しむことと、使わない野菜を利用することで廃棄野菜の削減につながることを体験

使わない野菜をつかってハンコ



エコバッグづくり



2021年7月14日ふらっとリビング

まずはSDGsを知ること、身近なSDGsの認証マークを知り、選ぶ基準を身につける

SDGsの絵本よみ



SDGsとして認証マークを学ぶ



国際フェアトレードマーク、FSCマーク、MSC「海のエコマーク」など

2021年8月1日

夏野菜おいなり作りオンライン

地元の夏野菜を使って自分でおいなり作りをして、食事の楽しさを伝える

オンラインで自宅から参加



調理方法はわかりやすく画像で。



2021年9月23日 防災お料理教室オンライン

普段から取り入れられるように缶詰や乾物を使って防災を身近にしていこう。

防災なので火を使わずに



まぜて、くすくすミートパスタ



2021年10月3日 お米農家のお仕事体験

農家さんの田んぼのお手伝い。稲、田んぼの感触、生き物に触れて、たいへんさをありがたさを実感。

田んぼの感触も楽しい



天日干しのため「稲架掛け（はさがけ）」



2021年10月13日 ふらっとリビング

麻生区で活動する方と触れ合い地元の良さを感じ、愛着を持っていただく

二胡演奏（小林明子さん）



コマの絵付け体験（博進社さん）



2021年10月13日ふらっとリビング

昔遊びを知ること、身近な物で遊ぶ喜びを感じる。コマを絵づけして自分だけの模様になるコマを作っている。

昔遊びも教えていただきました



この絵付けでどんな模様になる？



2021年10月24日サツマイモ & 冬野菜収穫

自ら土に触れて、収穫していく喜びを感じ、食育に繋げる。

土を掘ってサツマイモ掘り



顔より大きなさつまいも



2021年10月24日サツマイモ & 冬野菜収穫

普段は入れない農園でのネギ畑での収穫体験。大根やケールも自分で選んで収穫することで達成感も味わえました。

貴重なネギの収穫体験



大根、ケールなども収穫



2021年11月10日ペット防災 & 食育

地域で活動する「ペットとぼうさい」さんから、防災時のペットについて学び、考えました。

ペット防災士のマスターさん



配膳ゲームで学ぶ



2021年11月27日小田急のくらしマーケット ふらっとリビングを地域の方に知っていただくため、栗平駅前で体験会と チラシ配布の広報活動を行いました。

ふらっとリビングのコマ作り体験



博進社さんも応援に来てくれました！



2021年12月8日 ふらっとリビング

子どものリクエスト企画により、ミサンガ作り。いつもお世話になっている地域の方へのプレゼントで多世代交流。

小学生が先生役でミサンガづくり



自治会のお母さんにプレゼント



2021年12月8日 ふらっとリビング

ビンゴという楽しい遊びを通して、食育を学ぶ

食事ビンゴゲーム



リースづくり



2022年1月12日 ふらっとリビング

地域の団体による「割り箸てっぼう」と福笑いで季節を感じる

割り箸てっぼう



福笑いづくり



2022年2月9日大豆遊び

地元の節分豆に触れて遊んで、お豆の知識を取り入れていく。

栄養士さんからお豆の話やクイズ



カジノヤ納豆さんの節分豆



ふらっとリビング活動への協力

地域の子どもを地域の方々に参加していただき、見守っていただく関係へ。

大学生による食育クイズ



郵便局サンタさんが来ました！



農園での活動の気づき

農家さんの貴重なお話から苦労や喜びなどの想い知ること、地元の田んぼのありがたさを感じる。

お米農家の立川さんからお話



田んぼの生き物



ふらっとリビング 活動のつながり

マンカラを作って、包括支援センターへ寄付。低学年や未就学児は、静かに大学生の絵本読みで交流。

マンカラづくり



大学生の絵本読み



ふらっとリビング 食事を取り入れる

ベジ活部のご協力により、ふらっとリビング後に希望者には食事を提供。
地元野菜を口にする機会を増やす。

栄養士さんからのお話



野菜をおいしく食べる



【ふらとりビング 2021 年度】 アンケート

○子ども・9 歳・

どこで知ったか	学校で配られたプリント
参加目的、きっかけ	楽しそうだったから
衛生アンケート	きれい
やってみたいこと	季節の折り紙

○子ども・11 歳・

どこで知ったか	親から
参加目的、きっかけ	面白そうだったから
衛生アンケート	きれいでした
やってみたいこと	枝を使った工作

○子ども・10 歳

どこで知ったか	親から
参加目的、きっかけ	面白そうだったから
衛生アンケート	きれいでした
やってみたいこと	野菜を使った工作

○子ども・6 歳

どこで知ったか	小学校のチラシ
参加目的、きっかけ	子どもにいろいろな経験をさせたいと考えた
衛生アンケート	問題なかったです
やってみたいこと	けん玉をやりたい

○子ども・8 歳

どこで知ったか	学校のチラシ
参加目的、きっかけ	昔遊びを教えていただきたかったため
衛生アンケート	問題なかったです
やってみたいこと	けん玉をやりたい

○子ども・11 歳

どこで知ったか	お母さんから。
参加目的、きっかけ	面白そうだったから。
衛生アンケート	きれいです。
やってみたいこと	なし。

○子ども・3歳

どこで知ったか	マーケットにてチラシをみて。
参加目的、きっかけ	時間が幼稚園帰りにいきやすかった。
衛生アンケート	衛生的でした。
やってみたいこと	なし。

○子ども・7歳

どこで知ったか	学校配布のチラシ
参加目的、きっかけ	友人（参加経験者）から話を聞いて
衛生アンケート	とっても綺麗でした！「始めに手を洗ってから～」というのも安心感がありました。
やってみたいこと	娘が工作が好きなのですが、家ではなかなか良いアイデアがなく・・・何か工作の企画があるとうれしいです。

○子ども・7歳（双子）

どこで知ったか	小学校からのチラシ
参加目的、きっかけ	ワークショップに参加させたかったから
衛生アンケート	手洗いや検温をきちんとしていて安心できた
やってみたいこと	家では体験できないようなことをやらせてあげたい。スライム作りやカタクリ粉あそびなど。

○大人（母）と子ども・4年、1年

どこで知ったか	小学校のお便り
参加目的、きっかけ	子どもの居場所づくりの一つとして参加
衛生アンケート	きれいでした。
やってみたいこと	手芸、お絵かき、プロミスリング、人形づくり

○大人（母）と子ども2歳

どこで知ったか	ネット
参加目的、きっかけ	イベントに興味があったので。
衛生アンケート	きれいでした
やってみたいこと	なし。

○大人（母）と子ども6歳

どこで知ったか	小田急のくらしマーケットのチラシ
参加目的、きっかけ	送られてきたLINEで、クリスマス会が楽しそうだった
衛生アンケート	とてもキレイでした。
やってみたいこと	なし。

○大人（母）と子ども 7 歳 5 歳

どこで知ったか	友人の紹介
参加目的、きっかけ	内容がおもしろそうだから！
衛生アンケート	はい、明るくてとてもきれいでした。
やってみたいこと	カルタ、トランプ大会や料理教室など

○大人（母）と子ども 年少、小一

どこで知ったか	LINE
参加目的、きっかけ	楽しそうと思った。子供がコマ好き。
衛生アンケート	きれいだと思う。配慮されている。
やってみたいこと	なし。

○子ども・8 歳

どこで知ったか	LINE
参加目的、きっかけ	楽しそうと思った。子供がコマ好き。
衛生アンケート	きれいだと思う。配慮されている。
やってみたいこと	なし。

○大人・73 歳・女性

どこで知ったか	中村ふみよさんの Facebook
参加目的、きっかけ	自分の時間とふらっとリビングの時間が合ったことと、住まいの近くで何かをしたかった
衛生アンケート	良い
やってみたいこと	麻生の民話をたくさん知っていて、立体紙しばい 3 部上演はできるが完成をしたいので協力してくれる人がいると良い。試しに上演してみたい。

○大人・57 歳・女性

どこで知ったか	Facebook
参加目的、きっかけ	多世代交流イベントに興味があったため
衛生アンケート	いろいろ配慮してられました
やってみたいこと	なし。

2022年2月28日

事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	おか庭クラブ
-----	--------

1 事業結果

事業名	おか庭クラブ	
実施時期	令和3年6月23日 ～ 令和4年3月7日	
事業費	予算額	230,100円
	決算額	89,424円
実施結果	（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など）	
	○さんかくガーデン(仮称)馬頭観音管理作業・ミニ勉強会 毎月第3土曜日午前実施 6月21日(土)管理作業(雑草取り等) 8名 7月17日(土)管理作業・からむし刈り取り 10名 8月21日(土)管理作業(雑草取り) 11名 9月25日(土)管理作業(雑草取り・植物観察) 8名 10月16日(土)管理作業(枯れ花摘み取り) 10名 11月21日(日)(仮称)馬頭観音ガーデン事前整備 12名 11月25日(木)管理作業(花苗植え等) 10名 12月18日(土)管理作業(雑草取り) 10名 2月19日(土)管理作業(雑草取り) 10名 ○講習会の開催 からむしの繊維取り実習(岡上公会堂) 7月17日(土)10時～11時30分 7名 8月21日(土)10時～11時30分 6名 1月15日(土)(仮称)馬頭観音ガーデン土づくり実習 9名 3月5日(土)(仮称)馬頭観音ガーデン花壇づくり実習 9名 予定	
事業総括 (自己評価)	（当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など）	

	さんかくガーデンの維持管理活動は計画通り進み、臨時活動時にもメンバーの積極的参加を得たが、コロナの影響もあってか、新規入会者が少なかった。 ガーデン造りというテーマで、町内馬頭観音そばの土地に、地権者の了解のもとに花壇の整備計画をたて、土地の整備・花壇の土づくり・花苗の植え付け（3月5日予定）を行い、特に土づくりは、大切な作業だと理解を得ることができた。 からむしから繊維の取り出しの実習も行ったが、麻生区の区名由来となった歴史もあり次年度も継続して行いたい。
--	--

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
川崎市負担金	89,424	
参加者参加費	9,300	300円×31人(延べ) 4回開催
合 計	98,724	

(2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金等	0	
旅費・交通費	0	
消耗品費	89,424	園芸用品等42,160円、花苗47,264円、事務用品0円
印刷製本費	0	
通信運搬費	0	
使用料・賃借料	0	
保険料	0	
その他	0	
合 計	89,424	

※収支差額9,300円は、返還を求めない団体余剰金。

※当初市負担金179,100円のうち、89,424円を支出し、89,676円を川崎市に返納。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(おか庭クラブ)
事業名	(おか庭クラブ)

視点	項 目	判 断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	1. 十分達成できた ②. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	年度計画のうち、講習会は講師の日程の都合で折り合わず一部中止となったがそれ以外は達成できた。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	1. 十分満足していた ②. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	さんかくガーデンの存在は、市政だより・町内会だよりを通じて認知され、ガーデンの通りがかりの人からも気軽に声をかけて頂けるようになった。
	事業の経費は適正でしたか	1. 大きな過不足なく適正に執行された ②. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	講習会の一部開催断念とプレート作成の見直しを行い、これらの経費を一切執行しなかった為、執行経費が少なくなった。
	実施過程で問題は発生しましたか	1. 問題は発生しなかった ②. 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	講習会の断念に代わり、花壇の新規整備が出来た。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	1. 十分効果があった ②. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	相談してアドバイスを頂くことで、発生した諸案件が、早期に解決出来た。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	1. 十分に行った ②. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	何かあれば、都度相談協議を行った。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	1. 対等な関係になっていた ②. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	対等だったと感じている。
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	①. 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	役割分担・責任範囲は適切だと感じた。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	1. 十分確保できた ②. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	活動状況については、区担当者と常に連絡を取り合い、公開性と透明性は確保できていたと感じる。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

今後の課題	コロナの影響もあってか、新規会員が少なかったので会員を増やす方策を考えたい。
-------	--

おか庭クラブ 令和3年度活動報告

○さんかくガーデン(仮称)馬頭観音管理作業・ミニ勉強会

毎月第3土曜日午前実施

5月15日(土)管理作業(雑草取り等) 11名

5月29日(土)からむしの刈り取り等 6名

6月21日(土)管理作業(雑草取り等) 8名

7月17日(土)管理作業・からむし刈り取り 10名

8月21日(土)管理作業(雑草取り) 11名

9月25日(土)管理作業(雑草取り・植物観察) 8名

11月21日(土)(仮称)馬頭観音ガーデン事前整備 12名

11月25日(木)管理作業(花苗植え等) 10名

12月18日(土)管理作業(雑草取り) 10名

2月15日(土)管理作業(雑草取り) 10名

3月15日(土) 管理作業(花苗植え等)

○講習会の開催

からむしの繊維取り実習(岡上公会堂)

7月17日(土)10時～11時30分 7名

8月21日(土)10時～11時30分 6名

1月15日(土)(仮称)馬頭観音ガーデン土づくり実習 9名

3月5日(土)(仮称)馬頭観音ガーデン花壇づくり実習 9名 予定

令和4年 2月 28 日

事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	麻団 KIZUNA ネットワーク
-----	------------------

1 事業結果

事業名	麻団 KIZUNA ネットワーク	
実施時期	令和 3年 5月 6日 ～ 令和 4年 3月 4日	
事業費	予算額	499,700 円
	決算額	41,129 円
結果	（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など） ●定例会 月1回 参加人数 8~12名程度 ●電話相談 1回3時間 × 月8回 11月までは直接面談、12月より電話も使い待機 相談者との面談・対応 ●管理事務所に持ちこまれた相談や問題解決のための活動 ご近所トラブルについての相談 （5件） 独居高齢者のヘルプまたは行政へつなげる （13件） 認知介護者について保護者と相談 （アルナ園からアドバイスを受ける） 独居高齢者に対する詐欺未遂の報告を受け、団地内周知 （3件） 孤独死の発見 （1件） ●他マンションとの会合・情報交換 ●麻団メンバーを対象にした認知症サポーター講座の開催 （次年度は住民対象の講座を計画）	

	活動の中で分かったこと。 孤立している高齢者は予想以上に多い。昼間はデイサービスに通っていても夜間は一人で過ごされている高齢者や、また孤立して生活している間に、認知が進行したり、体が弱ってしまう事で出歩けず、いつのまにか生活困難に陥っている方が存在していることが分かった。 また詐欺のターゲットにされる、認知からの度重なる徘徊、ご近所とのトラブル等々のケースがあった。 高齢者が孤独死の後、かなりの月日が経ってから発見に至るという痛ましい出来事もあった。 （このケースはご近所の方からの知らせの元、麻団 KIZUNA ネットワークの代表が率先して、管理事務所との協力のもと、調べたことで発見に至った。 当事者は高齢者の独身女性。親類、ご近所との繋がりもほとんどなく、行政からのヘルプも受けたがらないことから、他者との繋がりがほとんどなかった。）
--	--

事業総括 (自己評価)	(当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など) ●コロナ渦での制限された活動だったので、当初の計画よりはずっと規模が小さくなってしまい、住民への認知度もまだ低い。 そのような意味合いにおいては、達成度は低い。 参加者の意見・感想 ●常に必要とされるわけではないが、いざという時に受け皿になれる体制があると、素早く対応できる。 ●管理事務所が対処しきれない部分(住民の暮らしや個人的な事情)に関して、一歩踏み込んだ対応ができる。 ●実際に活動を始めることによって、どのような事例があるのかが以前よりも明確になった。 ●認知症に関して理解が深まった。 ●高齢者見守りについて団地内で話し合いの場を持てた ●麻生台団地はこれまで、高齢者問題について、民生委員や行政、自治会に任せきりだったが、今回、管理組合としても取り組む必要性があることを問題提議する機会を持てた事に意義がある。 ●まだ手探り状態ではあるが、一年活動した結果、やはりこの活動の必要性を強く感じている。 ●活動が麻団メンバーだけで終わらず、各組織と連携する事が大事だと思う。 ●各組織間で得た情報を、許される範囲で共有し、協力し合う事で、効率よく的確な対応が可能になる。 ●活動に参加することにより、高齢者への意識向け、気付きが増えた。
------------------------	---

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額（円）	内訳
川崎市負担金	25,861	消耗品費、通信運搬費
自治会	15,268	携帯電話機代
管理組合	0	
合 計	41,129	

(2) 支出

項目	決算額（円）	内訳
謝礼金等	0	
旅費・交通費	0	
消耗品費	8,345	印刷用インク、ボールペン、バインダー
印刷製本費	0	
通信運搬費	17,516	携帯電話通信料（初回¥5,712 12、1、2、3 月×2951 円） （見込み）
使用料・ 賃借料	0	
保険料	0	
その他	15,268	携帯電話機
合 計	41,129	

※当初市負担金 221,700 円のうち、25,861 円を支出し、195,839 円を川崎市に返納。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(麻団 KIZUNA ネットワーク)
事業名	(麻団 KIZUNA ネットワーク)

視点	項 目	判 断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	1. 十分達成できた ②. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	活動初年度という事で、まずは定期的な活動をする事を目標とした。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	1. 十分満足していた ②. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	まだ認知度は高くないが、成果を上げていることに対しては良い評価を下されている。
	事業の経費は適正でしたか	1. 大きな過不足なく適正に執行された ②. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	コロナ渦では、予定していた活動の大幅な制限を余儀なくされた。
	実施過程で問題は発生しましたか	1. 問題は発生しなかった ②. 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	メンバー間の情報交換がうまくできないときがあった。 メンバーの意識のズレが見られた。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	①. 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	協働事業として認められたことで、自治会、管理組合からの協力も得られやすくなった。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	①. 十分に行った 2. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	定例会や相談窓口待機中、その他、メンバー同士の相談時間は多く持てたと思う。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	①. 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	①. 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	助成金の分担項目を明確に分ける事により、責任の分担が整理された。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	1. 十分確保できた ②. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	行事が出来なかったもので、告知の機会が少なく、認知度が
今後の課題	閉じこもり高齢者の発見と対応 組合員(住民)へのアピール 活動メンバーの増強 活動内容の充実化、 自治会・管理組合への働きかけの強化		

2022 年 2 月 18 日

事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	あさおの SDGs
-----	-----------

1 事業結果

事業名	麻生区 SDGs 推進隊	
実施時期	令和 3 年 7 月 17 日 ～ 令和 4 年 3 月 6 日	
事業費	予算額	813,700 円
	決算額	734,636 円
実施結果	（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など） 第1回（7/17 実施 麻生市役所会議室） ① SDGs 推進隊任命式、SDGs についての講話 ② 麻生区こども SDGs 宣言 第2回（8/4 緊急事態宣言により中止） 第3回（8/20 緊急事態宣言下によりオンライン） ① SDGs につながっているもの、場所を考える 第4回（9/20 実施 麻生市役所会議室） 企業視察、見学（無印良品様、イオンスタイル様） 第5回（10/17 実施 柿生自然堂） SDGs マップ作成、こども SDGs フォーラム役割決め 第6回（11/14 実施 麻生区役所） SDGs マップ作成、インジケーター・ターゲット策定 こども SDGs フォーラム内容決め 第7回（1/16 麻生区役所） 麻生区こども SDGs フォーラム実施 応募者：28 名 参加総数：23 名（うち 1 名は途中辞退）	
事業総括 （自己評価）	（当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など）	

	(専門的な知識や経験、実施能力など) ・推進隊が作成した「こども SDGs 宣言」は MUJI 新百合ヶ丘店様に掲載いただいている。 ・令和 3 年度事業採択後、本取り組みの仕組みを評価いただき、静岡市 SDGs 連携アワードでユースアクション部門を受賞した。 ・昨年度に作成したプロモーション動画を「第 3 回 SDGs クリエイティブアワード」に応募、全 239 作品の中から SDGs ローカルアクション部門において大賞を受賞した。 メディア掲載 ・読売新聞×2 回 ・東京新聞×2 回 ・静岡新聞×1 回 ・タウンニュース×5 回 (うちトップ記事 1 回) ・マイタウン×2 回 (うちトップ記事 1 回) 1/16 に実施した「麻生区こども SDGs フォーラム」では、企画、運営、実施に至るまで、原則子どもたちの発案と行動で実現した。 市長や区長だけでなく、地域企業の生きた SDGs と交わりを持てたことは大変意義のあることだと感じている。 採択いただき活動を開始したことで、受賞やメディアへの連続掲載とつながった。来年度はジャパン SDGs アワードにも応募をしたいと考えている。 また企業協賛をいただいたことにより、つながりを創出できている。次年度については各企業との協業、訪問を含め、さらなる関係構築を行っていく。 (2022/3/1 時点) 株式会社かじのやが持つ農地で農業体験を実施。今後は大豆の生産を行い、代替肉の製造に挑戦する。 伸和コントロールズ株式会社が実施するミートフリーフライデーで提供される食事を夏休みに頂きに行く予定。
--	---

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額 (円)	内訳
川崎市負担金	614,700	
参加者受講料	69,000	20 名→23 名@3,000
協賛金	60,000	
合 計	743,700	

(2) 支出

項目	決算額 (円)	内訳
謝礼金等	0	コロナにより未実施
旅費・交通費	24,500	500×7 か月×7 名
消耗品費	56,568	事務用品費等
印刷製本費	262,416	SDGs マップデザイン料、データ化
動画作成費	214,500	プロモーション動画作成費
印刷製本費	49,820	ポスター作成費 (A1 800 枚)
印刷製本費	58,884	ポスター制作費 (A0 20 枚)
印刷製本費	45,530	推進隊メンバー募集ならびにフォーラム告知チラシ
通信運搬費	15,400	ZOOM 支払い (@2,200×7 か月分)
使用料・賃貸料	7,500	自然堂利用料
保険料	6,272	イベント保険
雑費	2,310	振込手数料
合 計	743,700	

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(あさおの SDGs)
事業名	(麻生区 SDGs 推進隊)

視点	項 目	判 断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	① 十分達成できた 2. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	SDGs マップ作成、団体としてのインジケーターターゲットの策定、フォーラムの実施が出来た。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	① 十分満足していた 2. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	参加した子どもたちは元より、その保護者、団体活動に関わった方々からの評価は高い。
	事業の経費は適正でしたか	① 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	当初予定の動画作成費とマップ作成費用は膨らんだものの、広報活動費を抑えたことにより適正に実施できた
	実施過程で問題は発生しましたか	1. 問題は発生しなかった ② 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	8月の活動予定が緊急事態宣言により活動停止した。その分を11月に振り替えたため、解決できた。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	① 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	静岡市 SDGs 連携アワード、第3回 SDGs クリエイティブアワードでの受賞により、行政×市民団体での活動を広められた。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	① 十分に行った 2. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	活動日における周知、準備、実施内容や報告書作成など滞りなく実施できた。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	① 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	契約書の通り
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	① 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	前例がない中で都度取り決め範囲を明確にし実施できた。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	① 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	団体メンバーへの情報公開は随時行い、会計報告についても問題はない。
今後の課題	活動継続のための原資獲得の補助、助成メニューが必要(令和6年度以降) 社団法人立ち上げによる、人件費を含む運営資金の確保 参加希望者増加に対し、運営の人的問題		

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(あさおの SDGs)
事業名	(麻生区 SDGs 推進隊)

視点	項目	判断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	① 十分達成できた 2. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	SDGs マップ作成、団体としてのインジケータやターゲットの策定、フォーラムの実施が出来た。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	① 十分満足していた 2. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	参加した子どもたちは元より、その保護者、団体活動に関わった方々からの評価は高い。
	事業の経費は適正でしたか	① 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	当初予定の動画作成費とマップ作成費用は膨らんだものの、広報活動費を抑えたことにより適正に実施できた
	実施過程で問題は発生しましたか	1. 問題は発生しなかった ② 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	8月の活動予定が緊急事態宣言により活動停止した。その分を11月に振り替えたため、解決できた。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	① 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	静岡市 SDGs 連携アワード、第3回 SDGs クリエイティブアワードでの受賞により、行政×市民団体での活動を広められた。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	① 十分に行った 2. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	活動日における周知、準備、実施内容や報告書作成など滞りなく実施できた。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	① 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	契約書の通り
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	① 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	前例がない中で都度取り決め範囲を明確にし実施できた。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたか	① 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	団体メンバーへの情報公開は随時行い、会計報告についても問題はない。
今後の課題	活動継続のための原資獲得の補助、助成メニューが必要(令和6年度以降) 社団法人立ち上げによる、人件費を含む運営資金の確保 参加希望者増加に対し、運営の人的問題		

令和4年 3月 7日

事業結果報告書

（あて先）川崎市麻生区長

団体名	NPO 法人 岡上アグリ・リゾート
-----	-------------------

1 事業結果

事業名	麻生区の新たな魅力と岡上グリーンツーリズム体験！！		
実施時期	令和 3年 5月 21日 ～ 令和 4年 3月 7日		
事業費	予算額	510,000	円
	決算額	511,460	円
実施結果	（具体的な実施内容及び成果物、開催回数、参加人数など） ■親子でグリーンツーリズム体験 7月4日麻生区産ワインの完成披露とワイナリー見学 参加人数 20名 7月10日親子でグリーンツーリズム体験（夏） 参加人数 20名 11月3日親子でグリーンツーリズム体験（秋） 参加人数 20名 3月6日親子でグリーンツーリズム体験（冬） 参加人数 20名 の計4回イベントを開催した。 ■オンライン動画制作 （麻生区 YouTube チャンネル対応） 麻生区初のワインの魅力や岡上地域のグリーンツーリズムの内容が詰まった動画を制作した（動画撮影・編集）		
事業総括 （自己評価）	（当初の目標に対する達成度、事業を実施したことによって生じた効果、参加者の反応など）		

麻生区初のワインの魅力や岡上地域のグリーンツーリズムの内容が詰まった動画を制作し麻生区役所に提供した。

制作した動画のテーマは2つ。

ワイン編「川崎で醸すワインの可能性～麻生区・岡上から発信する新たな農業の魅力」として、新たな農業と地域連携について語りを中心に制作。サントリーインターナショナル株式会社ワイナリー事業部部長 松尾英理子様、和光大学地域連携研究センターセンター長 小林猛久様、和光大学表現学部芸術学科 倉片雅行様に出演いただき今後の麻生区・岡上の農業発展について語っていただいた。

農業・自然・歴史編「okagami green tourism」は、春、夏、秋、冬と四季折々の岡上地域の農業、自然、歴史を映像中心で制作。

野菜だけでなく、桜ややまゆりの自生する景色、岡上神社や東光院、普段入れない寺院境内の撮影も許可いただいた。

今後の取り組みとしては発信に力を注いでいきたいと考えている。発信にはインターネットを利用し多くの方に届くよう検討していきたい、まずは麻生区の YouTube チャンネルで配信、独自の H P なども活用したい。時代に合わせた発信方法により多くの方々に魅力を伝えていきたいと考えている。

また、今年度は4回開催したグリーンツーリズムの収穫体験イベントは予定通りの参加人数が集まり区民に岡上地域の魅力を感じていただいたと考えている。また、和光大学地域連携研究センターの協力により、収穫体験のサポートや自然体験ができる催しなども開催できた。

1回目：夏野菜の収穫体験

トマト・ナス・ピーマンなどたくさんの農産物を収穫した。親子での参加であったため、子供たちの収穫を大学生が手伝ってくれたり、収穫した野菜を運ぶのが大変な親御さんには駅まで運んでくれたりと、世代を超えて繋がりが生まれた。

2回目：川崎初のワイン完成披露会

神奈川県で初めての構造改革特区で造られたワイン。川崎で初めて栽培から醸造までした、“純”川崎・麻生区のワインが完成。麻生区長にもご参加いただき区民に語りかけていただいた。

実際の栽培現場から、醸造施設の見学にワインの試飲も行った。

3回目：秋のさつまいも収穫と保育イベント

和光大学の学生が春から育てたさつまいもの収穫体験。収穫だけでなく保育を学ぶ和光大学の学生も参加し収穫後に青空の下でイベントも開催した。岡上の魅力は収穫体験だけでなく、地力が集まり付加価値が生まれる、とても良い経験となった。

	4回目：いちごの摘み取り体験 子供たちが大好きな「いちご」の収穫体験は、和光大学の学生が提案してくれた「収穫といちごパフェ作り」を企画したが、コロナウイルス感染症の蔓延防止期間中ということで、収穫のみとなってしまった。 しかし、大きないちごをたくさん収穫し子供たちは笑顔で参加してくれた。 参加者からは「初めて岡上に来た、こんなに自然があるなんて驚いた」「地域の大学と連携し若い力とアイデアで地力を感じた」「川崎市で初のワインが飲めて感動」など嬉しい声が聞かれた。 課題も見えてきた、情報の発信する手段が SNS と麻生区役所に配置させていただいたチラシのみだったため、もっと情報を知りたかったという要望もあった。SNS は使用していない方が多くいたことがわかり検討しなおす必要がある。また、参加の受付に関しても電話対応であったことで迅速に対応ができなかったことは次年度の課題でもある。 情報発信には岡上地域をもっと発信する必要があると感じた、それには今年度制作した動画を活用するとともに、次年度は今年度の活動を生かし、多くの方に岡上地域全体の魅力知って頂きたい、情報の発信により力を注ぎたいと考えている。
--	---

2 決算内訳

(1) 収入

項目	決算額（円）	内訳
川崎市負担金	360,000	
講座参加費	80,000	イベント参加費
協賛金	71,460	和光大学 30,000 円 株式会社 CarnaEst41,460 円
合 計	511,460	

(2) 支出

項目	決算額（円）	内訳
謝礼金等	50,000	和光大学（運営サポート費） ※団体負担 50,000 円
旅費・交通費		
消耗品費	17,460	インク代、印刷紙代 ※団体負担 17,460 円
印刷製本費	440,000	動画製作費 ※市負担 360,000 円、団体負担 80,000 円
通信運搬費		
使用料・ 賃借料		
保険料	4,000	イベント保険 4 回分 ※団体負担 4,000 円
その他		
合 計	511,460	

※項目が多い場合は行を増やすか、別の用紙（様式自由）に記載してください。

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

団体名	(NPO 法人 岡上アグリ・リゾート)
事業名	(麻生区の新たな魅力と岡上グリーンツーリズム体験)

視点	項 目	判 断	判断の主な理由
事業の成果について	事業目的は達成できましたか	1. 十分達成できた 2. ほぼ達成できた 3. あまり達成できなかった 4. 達成できなかった	コロナ禍でのイベント開催で心配でしたが、感染症の対策をしっかりと行うことができた。
	事業の成果に対する市民の満足度は十分でしたか	1. 十分満足していた 2. ほぼ満足していた 3. あまり満足していなかった 4. 満足していなかった	参加された方からはとても嬉しい声を聞くことができた。情報の発信の仕方は課題。
	事業の経費は適正でしたか	1. 大きな過不足なく適正に執行された 2. 見込みよりはるかに少なかった 3. 見込みよりはるかに多かった	事業予算が少なくなったため、協賛金を集めることに苦労した。しかし予定通り進めることができた。
	実施過程で問題は発生しましたか	1. 問題は発生しなかった 2. 問題が発生したが適切に解決できた 3. 問題が発生し、解決できなかった	特に問題は発生しなかった。
	協働で実施したことにより、単独で実施するより効果をあげることができましたか	1. 十分効果があった 2. まあまあ効果があった 3. あまり効果がなかった 4. 効果がなかった	麻生区役所と協働することにより、参加者の安心感やチラシの配布場所の確保ができ、協働の成果が出た。
協働の手法について	事業目的や目標の共有化のための協議は十分に行いましたか	1. 十分に行った 2. まあまあ行った 3. あまり行わなかった 4. 行わなかった	十分に協議を行うことができた。
	協定書などの内容が、対等な関係になっていましたか	1. 対等な関係になっていた 2. まあまあ対等な関係になっていた 3. あまり対等な関係でなかった 4. 明らかに対等な関係でなかった	事業実施をする上で全く問題がなかった。
	行政と団体で、役割分担や責任範囲の設定は適切でしたか	1. 明確かつ適切に設定できた 2. 明確だったが、適切でなかった 3. 不明確だった	適切に行われた。
	事業内容について、公開性・透明性が確保されていましたが	1. 十分確保できた 2. まあまあ確保できた 3. あまり確保できなかった 4. 確保できなかった	十分に確保できていた。
今後の課題	参加者からは「初めて岡上に来た、こんなに自然があるなんて驚いた」「地域の大学と連携し若い力とアイデアで地力を感じた」「川崎市で初のワインが飲めて感動」など嬉しい声が聞かれた。 課題も見えてきた、情報の発信する手段が SNS と麻生区役所に配置させていただいたチラシのみだったため、もっと情報を知りたかったという要望が多くあった。SNS は使用していない方が多くいたことがわかり検討しなおす必要がある。ま		

麻生区市民提案型協働事業 振り返り表

た、参加の受付に関しても電話対応であったことで迅速に対応ができなかったことは次年度の課題でもある。

情報発信には岡上地域をもっと発信する必要があると感じた、それには今年度制作した動画を活用するとともに、次年度は今年度の活動を生かし、多くの方に岡上地域全体の魅力知って頂きたい、情報の発信により力を注ぎたいと考えている。

今年度はコロナ禍ということもあったが、参加人数が多くなった場合の対応や、募集の仕方など改善の余地が必要であると感じた。また、グリーンツーリズム体験として農地に子供がいく場合のトイレが無いという課題はかなり問題であった。

都市計画法や農地法などの絡みがあり難しいことは理解するが、麻生区としてグリーンツーリズムを掲げるのであれば農地のトイレ問題も検討して欲しいところであるとの声もあった。こちらは簡単には解決できないため地域と行政が力を合わせて議論していければと考えている。